

時間預託活動 (11月度)

	提供活動	コーディネート	事務所提供	活動管理	当月計	年度計
時間数	52	0	5	6	63	497
人数	9	0	1	2		

奉仕活動 (11月度)

	福祉活動	子育て	ナルク活動	その他	当月計	年度計
時間数	24	0	0	0	24	40
人数	12	0	0	0	0	

読めますか？

強ち 甘味処 予め 有体
 塩梅 幼気 音呼 泡沫
 会釈 凡そ 恩賜 快哉
 雁字搦め 陥穽 禁錮 忌憚

あながち あまみどころ あらかじめ ありてい

あんばい いたいけ いんこ うたかた

えしゃく およそ おんし かいさい

がんじがらめ かんせい きんこ きたん

時事川柳

(岐阜新聞入選作)

- *物価高すぎ間が増えた冷蔵庫
- *答弁はむなしく響く美辞麗句
- *説明は言語明瞭意味不明

はっとり勝弘

(ナルク会員・岐阜市議会議員)

日本の名画 ⑧

クマガイ モリカズ
 熊谷守一
 「猫」



熊谷守一は、1880（明治13）年に岐阜県恵那郡付知村に生まれます。1897（明治30）年に上京後、20歳の時に東京美術学校西洋画科撰科に入学。黒田清輝や、藤島武二らの指導を受けます。青木繁や和田三造など日本洋画界の重要人物たちと同級生でした。中津川出身の前田青邨より5歳年長です。富裕層の出身ですが、極度の芸術家気質で、貧乏生活を送り「二科展」に出品を続け「画壇の仙人」と呼ばれていました。

晩年を過ごした家では、30年間もの間、身の回りの自然や小さな生き物の観察を趣味とし、飼っていた猫の絵も多く残しました。無駄のない線でありながら温かみを感じさせるふくらみやデッサン力の高さで描かれた猫の数々は人気のシリーズになっています。

文化勲章受章は辞退しています。

昭和52年（1977）没 享年97才

松下幸之助（一日一話より）人の世は雲の流れのごとし

青い空に、ゆったりと白い雲が流れてゆく。常日ごろ、あわただしさのままに、意識もしなかつた雲の流れである。速く遅く、大きく小さく、白く淡く、高く低く、ひとときも同じ姿を保っていない。崩れるが如く崩れざるが如く、一瞬一瞬その形を変えて、青い空の中ほどを、さまざまに流れてゆく。

これはまさに、人の心、人のさだめに似ている。人の心は日に日に変わってゆく。そして、人の境遇もまた、きのうときょうは同じではないのである。喜びもよし、悲しみもまたよし、人の世は雲の流れの如し。そう思い定めれば、そこにまた人生の妙味も味わえるのではないだろうか。